



教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。
(おさしづ 明治22年11月7日)

働はたら朝あさ

き起お

き

三

つ

の

空たから

正しやう

道どう

教祖おやさまはある日、三粒の粉種もちだねを持って
「これは朝起き、これは正直、これは働きやで。」
と仰られ、飯降伊蔵いぶりいぞう様の手の上に一粒ずつ
お載せ下され、
「この三つをしっかりと握って失わんようにせ
にやいかんで。」
と仰せられました。
(稿本天理教教祖伝逸話篇一九三三の宝より)
また、教祖が、飯降よしゑ様にお聞かせ下
されたお話に、
「朝起き、正直、働き。朝、起こされるのと、
人を起こすのでは、大きく徳、不徳に分
かれるで。蔭でよく働き、人を褒めるは正直。
聞いて行わないのは、その身が嘘になるで。」

もう少し、もう少しと、働いた上に働くのは、
欲ではなく、真実の働きやで。」
と仰せられました。
(稿本天理教教祖伝逸話篇一一二朝、起こされるのとより)
元来、正直者と言われていた伊蔵様に、こ
の三つを失わないようにすること。娘のよ
しゑ様には、より具体的なことをお教えく
ださったことから、この教のおしえ実行が宝物で
あるほど大切なことが分かります。
電気のない時代を想像すると、明るい朝を
迎えることは待ち遠しかったことでしょう。
その喜びを感謝の心で行動にあらわす日々
を私たちも実行してみましよう。
本島大教会布教部(典)